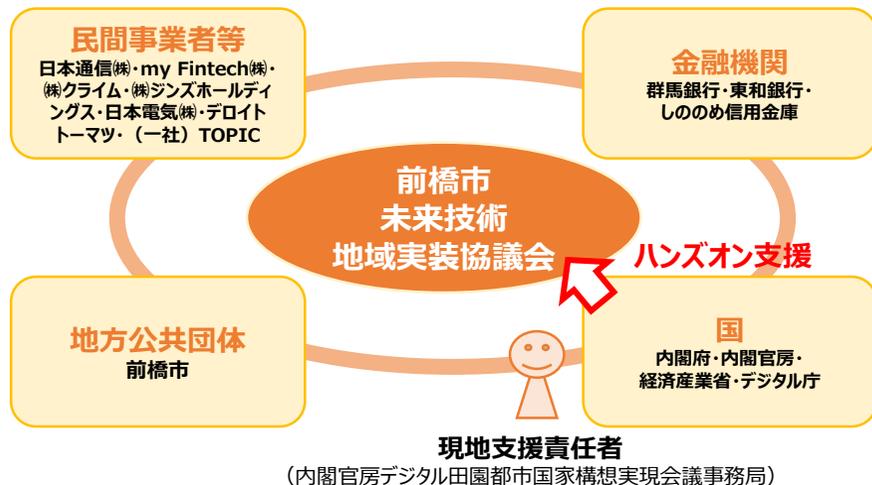


課題

- 市民一人一人にパーソナライズされたサービスを展開していくために必要な安全で公的な裏付けがあり、かつ利便性の高いデジタルIDが存在しない
- キャッシュレス化の推進に伴い地域の購買・決済・与信情報といった金融情報が決済事業を行う大企業に集約し、消費者の購買履歴の地域外への流出を端として、地域経済の衰退につながっている

推進体制

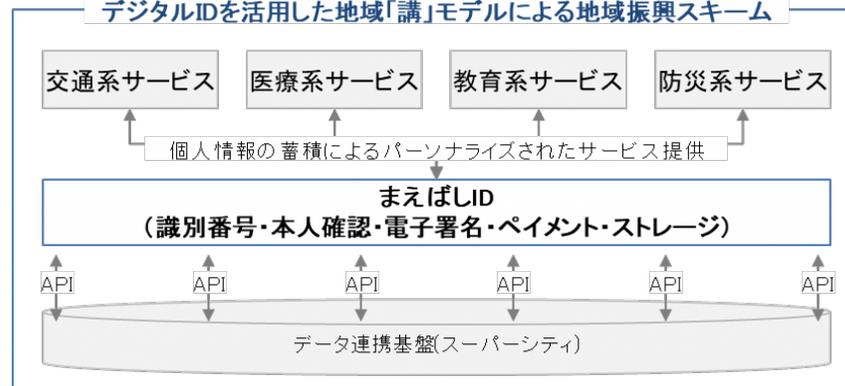


課題解決に向けた取組

「まえばしID」構築事業、まえばし「講」モデルのDX基盤整備事業

- 「まえばしID」構築事業（識別番号・本人確認・電子署名・ストレージ）
 - ・ プライバシーを十分に確保し個人情報を取り扱うことができる堅牢なID/認証の仕組みを構築
 - ✓ 本人確認に必要となる管理用の識別番号形態の検討・実装
 - ✓ デジタル空間上での本人確認の手法に関する機能の実装
 - ✓ デジタル空間上での本人意思の確認（署名）機能の実装
- まえばし「講」モデルのDX基盤整備事業（ペイメント・地域内決済機能の実装）
 - ・ まえばしIDを活用した共助・公助に基づく地域金融を活性化させるためのDX基盤の整備
 - まえばしIDを基軸としたサービス組成・展開、金融消費データの蓄積
 - ✓ 金融消費データを活用する形での新たな与信の獲得、獲得した与信に基づく地域での再投資の促進

デジタルIDを活用した地域「講」モデルによる地域振興スキーム



2021年度の
主な取組

- 地域実装協議会を開催し、実装に向けた具体的な調査等を開始
- 「まえばしID」の新たな名称を公募するとともに、まえばしIDを活用した新たなビジネスアイデアを公募
- 「まえばしID」構築に向けたWGによる検討・準備